

平成24年行政事業レビューシート

(文部科学省)

事業名	スポーツ政策の戦略的立案基盤の強化		担当部局	文部科学省スポーツ・青少年局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成22年度		担当課室	スポーツ・青少年企画課スポーツ政策企画室		スポーツ政策企画室長 西井知紀		
会計区分	一般会計		施策名	XII-2 生涯スポーツ社会の実現				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	スポーツ基本計画(平成24年3月30日策定) スポーツ立国戦略(平成22年8月26日策定) スポーツ振興基本計画(平成18年9月21日改定)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	これまで一部のスポーツ団体のガバナンスの在り方に疑問や批判の声が寄せられてきたが、このような問題は国民にスポーツ団体全体に対する疑問を喚起させ、信頼を失わせる危険性もある。このため、平成22年8月に文部科学省が策定した「スポーツ立国戦略」においては、主要施策として「スポーツ団体のガバナンスの強化」を掲げており、この施策立案に資するため、諸外国におけるスポーツ団体のガバナンス強化に関する仕組みや取組状況等を調査研究する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	民間団体に委託し、諸外国におけるガバナンス強化に関する仕組みや取組状況等に関し、現地調査・ヒアリング等による実態調査・文献調査その他適切な方法を通じてデータを収集・整理・分析し、報告書を作成する。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
		補正予算		21	19	13	12	
		繰越し等		-	-			
		計		△14	14			
	執行額		7	33	13	12		
	執行率(%)			14.3%	75.8%			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		成果実績	単位	21年度	22年度	23年度	目標値(年度)
	海外や地域・現場のスポーツ振興施策等について現状を把握することを目的としており、成果指標を定量的に示すことは困難。			達成度	%			
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		活動実績(当初見込み)	単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	海外や地域・現場のスポーツ振興施策等について現状を把握することを目的としており、活動指標を定量的に示すことは困難。					()	()	()
単位当たりコスト	-		算出根拠	-				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	0.5百万円	0.1百万円					
	委員等旅費	0.5百万円	0.1百万円					
	庁費	1百万円	0.02百万円					
	スポーツ振興事業委託費	11百万円	12百万円					
	計	13百万円	12百万円					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	諸外国のガバナンスの在り方に関する調査研究を行う当事業は、「スポーツ立国戦略」の重点戦略の1つである「スポーツ界における透明性及び公平・公正性の向上」において、スポーツ団体のガバナンスの強化の必要性が明記されていることから、政策の優先度が極めて高い事業である。不用率が21.2%と大きくなっている理由は、調査研究委託業務の発注にあたって一般競争入札(総合評価落札方式)を実施した結果、契約価格が予定を大幅に下回ったこと等のためである。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・用途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	支出先の選定にあたっては、十分な公告期間を確保した上で公募を実施しており、その妥当性及び競争性を確保しているところ。また、委託契約の締結及び委託額の確定手続きに当たっては、事業経費の費目・用途の内容を厳正に審査するなど、その必要性について適切にチェックしている。
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	民間のスポーツ関係団体等に調査委託することにより、複数の外国の状況調査である以上に、本調査が統計的調査ではなく実態調査であるため、それら民間団体のノウハウ・コネクションを活用した方が、より実態に近い状況把握が可能となり、実効性の高い成果が得られる。当該事業で得られた報告書については、スポーツ団体のガバナンス向上ガイドラインの在り方についての検討及び具体的な方策のとりまとめに供するとともに、広く一般にも利用できるよう、文部科学省ホームページに掲載するなどの工夫を行っている。
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	-	※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>当事業の契約相手方の選定にあたっては、公平性、透明性及び競争性の確保の観点から総合評価落札方式を採用しており、その結果として当初の予定金額と比較して契約金額が安価になる等、経済的な側面では一定の成果をあげている。</p> <p>その一方で、不用率が大きくなっていることを踏まえ、予算と実績の乖離要因を分析した上で、予算要求時に反映させる必要がある。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	<p>1. 事業評価の観点: この事業は、「スポーツ団体のガバナンスの強化」に資するため、諸外国におけるスポーツ団体のガバナンス強化に関する仕組や取組状況等を調査研究する事業であり、予算執行状況の観点から検証を行った。</p> <p>2. 所見: 当該事業は、平成22年度、平成23年度ともに不用額が生じていることから、不用額が生じた詳細な要因を分析したうえで、予算執行の実績を適切に概算要求に反映すべきである。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
縮減	<p>「点検結果」に記載した通り、過去の不要額を踏まえ委託費をより精査して平成24年度の予算編成を行った(△6百万円)。平成25年度予算編成においては、一層の精査に努め、更に1百万円削減している。</p>		
補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
<p>スポーツ基本計画について: http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/plan/index.htm スポーツ立国戦略について: http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/rikkoku/1297182.htm スポーツ振興基本計画について: http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/plan/06031014.htm スポーツ政策調査研究(ガバナンスに関する調査研究)について: http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/chousa/detail/1319873.htm</p>			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	-	平成23年行政事業レビュー	0352

※平成23年度実績を記入

文部科学省
25百万円

諸謝金 0. 3百万円
委員等旅費 0. 1百万円
庁費 0. 6百万円
を含む

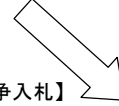
民間団体へ委託し、海外のスポーツ政策の状況などを調査。委託先へ求める内容を示した仕様書を提示し、委託後は調査研究の進捗状況を管理。



【一般競争入札】

A. (財)笹川スポーツ財団
14百万円

諸外国や国内におけるスポーツ振興施策に関し、既存データのブラッシュアップや再分析を行うとともに、現地調査・ヒアリングや質問紙による実態調査・文献調査その他適切な方法を通じてデータを収集・整理・分析し、報告書を作成



【一般競争入札】

B. WIPジャパン(株)
10百万円

諸外国におけるガバナンス強化に関する仕組みや取組状況等に関し、現地調査・ヒアリング等による実態調査・文献調査その他適切な方法を通じてデータを収集・整理・分析し、報告書を作成

※ 一般競争入札により平成22年8月6日付けで、(財)笹川スポーツ財団と委託契約を締結したが、東日本大震災の影響により報告書作成に遅れが生じたため、平成23年度に予算を繰越した。
額の確定後、14百万円を支出した。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.(財)笹川スポーツ財団			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
諸謝金	原稿執筆、調査委員会委員手当等	3			
雑役務費	現地通訳、調査システム利用料、海外保険、振込手数料等	7			
旅費交通費	諸外国ヒアリング	2			
印刷製本費	報告書印刷(300部)	1			
一般管理費	事業費の5%	1			
計		14	計		0
B.WIPジャパン(株)			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
賃金	研究員賃金	8			
諸謝金等	委員手当、印刷製本費等	1			
一般管理費	事業費の10%	1			
計		10	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A. 諸外国や国内におけるスポーツ振興施策に関する調査研究

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	公益財団法人笹川スポーツ財団	民間団体に委託し、諸外国や国内におけるスポーツ振興施策に関する調査研究を行う。	14	2	98.8
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10		※東日本大震災の影響により、平成22年度より繰越し			

B. 諸外国や国内におけるガバナンスに関する調査研究

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	WIPジャパン株式会社	民間団体に委託し、諸外国や国内におけるガバナンスに関する調査研究を行う。	10	3	69.4
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					